

2002 年度金沢大学特別研究プロジェクト 助成研究

地方における環境政策及び政策過程に関する

議員意識調査集計結果

(対象：北陸3県の全市議)

平成 15 年 1 月

[調査実施主体]金沢大学法学部公共システム学科 河村和徳研究室

URL <http://www.law.kanazawa-u.ac.jp/kawamura/>

ご記入にあたってのお願い

- 1 回答は、必ず 議員ご本人 がご記入下さい。
- 2 回答は、指示に従ってあてはまる番号に丸印をつけることを原則としています。
- 3 該当する質問に すべて にお答え下さい。答えられない項目があってもできる限りお答え下さい。
この調査票は、議会事務局を通じて依頼させていただいております。原則、無記名でご記入ください。 追跡調査等にご協力いただけるのでしたら、下記にご記名ください。締切は議会事務局の方に連絡させていただいております。
- 4

定数を基とした調査対象人数 586 名、回答者 309 名、欠員等回収不能数 6 名 (回答率 52.7%)

県別回答率、富山 (52.3%)、石川 (61.5%)、福井 (44.6%)

不明な点がございましたら、下記の方法でご連絡ください。また調査の性質上、1 月中にご連絡ください。

電子メール：kwmr2@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

FAX : 076-264-6030 (必ず送信元をご明記ください)

【環境政策について】はじめに、市町村レベルにおける環境政策についての質問をいくつか行います。

- 1 近年、各地の市町村でさまざまな環境施策が行われています。あなたのまちでも何らかのかたちで施策を行っていると思います。あなたは今後、こうした環境施策への予算をどうすべきであると思いますか。該当するもの1つに をつけてください。

	回答数	パーセント
1 大幅に減額すべき	3	1.0
2 減額すべき	2	0.6
3 現状維持	46	14.9
4 増額すべき	206	66.7
5 大幅に増額すべき	42	13.6
合計	299	96.8
非該当・無回答	10	3.2
	309	100.0

- 2 それでは、市町村が自治体独自の環境保全政策を導入する「必要性」についてうかがいます。あなたの考えは次のうち、どれに該当しますか。該当するもの1つに をつけてください。

	回答数	パーセント
1 国や県が責任を負うべき。したがって、市独自の対策は必要ない	5	1.6
2 すでに十分な環境保全政策が、市独自の対策として導入されている	10	3.2
3 国や県よりも、住民に近い存在である市が率先して環境対策に取り組むべき	114	36.9
4 国や県の対策は不十分である。したがって、市独自の対策を導入すべき	73	23.6
5 市の政策は、国や県の政策と整合性がとれる範囲内で導入されるべき	86	27.8
6 その他()	11	3.6
合計	299	96.8
非該当・無回答	10	3.2
	309	100.0

- 3 環境施策として、次のような施策を市町村レベルで行うことにあなたは同意されますか。それぞれの丸文字の項目ごと、該当するもの1つにをつけてください。ここでは貴市の規模ではなく、一般論としてお答えください。なお、この質問では、都道府県は50万人以上、市・広域行政圏は5万人以上、町村は5万人未満を想定しています。

環境基本条例の制定	回答数	パーセント
1 市町村レベルで行うことに同意できる	201	65.0
2 都道府県レベルでは同意できるが、市町村レベルでは同意できると一概にいけない	47	15.2
3 都道府県・市・広域行政圏レベルでは同意できるが、町村レベルでは同意できると一概にいけない	41	13.3
4 同意できない	4	1.3
5 わからない	7	2.3
合計	300	97.1
非該当・無回答	9	2.9
	309	100.0

国レベルよりも厳しい環境規制条例の制定	回答数	パーセント
1 市町村レベルで行うことに同意できる	158	51.1
2 都道府県レベルでは同意できるが、市町村レベルでは同意できると一概にいけない	74	23.9
3 都道府県・市・広域行政圏レベルでは同意できるが、町村レベルでは同意できると一概にいけない	40	12.9
4 同意できない	14	4.5
5 わからない	14	4.5
合計	300	97.1
非該当・無回答	9	2.9
	309	100.0

法定外目的税を使って環境対策財源をつくる	回答数	パーセント
1 市町村レベルで行うことに同意できる	102	33.0
2 都道府県レベルでは同意できるが、市町村レベルでは同意できると一概にいけない	100	32.4
3 都道府県・市・広域行政圏レベルでは同意できるが、町村レベルでは同意できると一概にいけない	50	16.2
4 同意できない	30	9.7
5 わからない	18	5.8
合計	300	97.1
非該当・無回答	9	2.9
	309	100.0

ISO の取得	回答数	パーセント
1 市町村レベルで行うことに同意できる	223	72.2
2 都道府県レベルでは同意できるが、市町村レベルでは同意できると一概にいけない	32	10.4
3 都道府県・市・広域行政圏レベルでは同意できるが、町村レベルでは同意できると一概にいけない	22	7.1
4 同意できない	6	1.9
5 わからない	15	4.9
合計	298	96.4
非該当・無回答	11	3.6
	309	100.0

新エネルギー施設(風力・バイオマス発電施設など)の建設	回答数	パーセント
1 市町村レベルで行うことに同意できる	158	51.1
2 都道府県レベルでは同意できるが、市町村レベルでは同意できると一概にいけない	81	26.2
3 都道府県・市・広域行政圏レベルでは同意できるが、町村レベルでは同意できると一概にいけない	50	16.2
4 同意できない	7	2.3
5 わからない	7	2.3
合計	303	98.1
非該当・無回答	6	1.9
	309	100.0

産業廃棄物の再資源化施設の建設	回答数	パーセント
1 市町村レベルで行うことに同意できる	131	42.4
2 都道府県レベルでは同意できるが、市町村レベルでは同意できると一概にいけない	82	26.5
3 都道府県・市・広域行政圏レベルでは同意できるが、町村レベルでは同意できると一概にいけない	83	26.9
4 同意できない	3	1.0
5 わからない	3	1.0
合計	302	97.7
非該当・無回答	7	2.3
	309	100.0

- 4 市独自で環境保全政策を導入するためには、いろいろな障害・足かせがあるかと思えます。下にあげたのは、環境保全政策を導入する際に、障害・足かせになりうるであろうものの一覧です。これらは貴市では、障害・足かせになりうるのでしょうか。それぞれの要因ごとに、該当するもの1つに をつけてください。

財源の不足		回答数	パーセント
1	障害・足かせになりうる	166	53.7
2	ある程度なりうる	124	40.1
3	ならない	10	3.2
4	わからない	2	0.6
合計		302	97.7
非該当・無回答		7	2.3
		309	100.0

首長の意向		回答数	パーセント
1	障害・足かせになりうる	71	23.0
2	ある程度なりうる	159	51.5
3	ならない	62	20.1
4	わからない	9	2.9
合計		301	97.4
非該当・無回答		8	2.6
		309	100.0

行政部課の方針		回答数	パーセント
1	障害・足かせになりうる	37	12.0
2	ある程度なりうる	167	54.0
3	ならない	83	26.9
4	わからない	11	3.6
合計		298	96.4
非該当・無回答		11	3.6
		309	100.0

同一会派内の調整		回答数	パーセント
1	障害・足かせになりうる	18	5.8
2	ある程度なりうる	146	47.2
3	ならない	125	40.5
4	わからない	11	3.6
合計		300	97.1
非該当・無回答		9	2.9
		309	100.0

議会全体の意思形成		回答数	パーセント
1	障害・足かせになりうる	49	15.9
2	ある程度なりうる	182	58.9
3	ならない	57	18.4
4	わからない	11	3.6
合計		299	96.8
非該当・無回答		10	3.2
		309	100.0

権限の不十分さ		回答数	パーセント
1	障害・足かせになりうる	97	31.4
2	ある程度なりうる	156	50.5
3	ならない	24	7.8
4	わからない	23	7.4
合計		300	97.1
非該当・無回答		9	2.9
		309	100.0

- 5 市独自で環境保全政策を導入するためには、いろいろな促進要因も考えられると思います。下にあげたのは、環境保全政策を導入する際に、促進要因になりうるであろうものの一覧です。これらは貴市では、促進要因になりうるのでしょうか。それぞれの要因ごとに、該当するもの1つにまるをつけてください。

市民団体，環境 NPO，NGO の支援		回答数	パーセント
1	促進要因になりうる	139	45.0
2	ある程度なりうる	140	45.3
3	ならない	20	6.5
4	わからない	6	1.9
合計		305	98.7
非該当・無回答		4	1.3
		309	100.0

企業・業界との意見交換		回答数	パーセント
1	促進要因になりうる	142	46.0
2	ある程度なりうる	146	47.2
3	ならない	11	3.6
4	わからない	6	1.9
合計		305	98.7
非該当・無回答		4	1.3
		309	100.0

国の補助金		回答数	パーセント
1	促進要因になりうる	220	71.2
2	ある程度なりうる	77	24.9
3	ならない	7	2.3
4	わからない	2	0.6
合計		306	99.0
非該当・無回答		3	1.0
		309	100.0

国・県からの委任の有無		回答数	パーセント
1	促進要因になりうる	155	50.2
2	ある程度なりうる	122	39.5
3	ならない	16	5.2
4	わからない	13	4.2
合計		306	99.0
非該当・無回答		3	1.0
		309	100.0

市の審議会の答申		回答数	パーセント
1	促進要因になりうる	103	33.3
2	ある程度なりうる	181	58.6
3	ならない	17	5.5
4	わからない	5	1.6
合計		306	99.0
非該当・無回答		3	1.0
		309	100.0

同一会派内の合意		回答数	パーセント
1	促進要因になりうる	115	37.2
2	ある程度なりうる	144	46.6
3	ならない	35	11.3
4	わからない	10	3.2
合計		304	98.4
非該当・無回答		5	1.6
		309	100.0

行政への根回し		回答数	パーセント
1	促進要因になりうる	96	31.1
2	ある程度なりうる	183	59.2
3	ならない	18	5.8
4	わからない	9	2.9
合計		306	99.0
非該当・無回答		3	1.0
		309	100.0

- 6 「地域の活性化のための予算」と「環境を守るための予算」があり、仮にどちらかを減額しなければならないという場合、あなたは議員としてどちらの減額に賛成しますか。該当するもの1つに をつけてください。

	回答数	パーセント
1 おそらく「地域活性化」方の減額に賛成と思う	30	9.7
2 時と場合によるが、「地域活性化」の方の減額に賛成する確率が高い	123	39.8
3 時と場合によるが、「環境を守る」方の減額に賛成する確率が高い	101	32.7
4 おそらく「環境を守る」方の減額に賛成と思う	26	8.4
5 わからない・答えられない	25	8.1
合計	305	98.7
非該当・無回答	4	1.3
	309	100.0

- 7 世界各国で、地球温暖化対策として二酸化炭素の排出抑制を目的とした「炭素税・エネルギー税」の導入が実施・検討されています。あなたは、こうした炭素税導入の動きに対してどのように思われますか。該当するもの1つに をつけてください。

	回答数	パーセント
1 導入した方がいいと思う	106	34.3
2 どちらかといえば導入した方がいいと思う	133	43.0
3 導入しなくともよい	41	13.3
4 わからない	26	8.4
合計	306	99.0
非該当・無回答	3	1.0
	309	100.0

- 8 あなたは京都議定書など世界レベルの環境保護活動に関心がありますか。該当するもの1つに をつけてください。

	回答数	パーセント
1 非常に関心がある	112	36.2
2 どちらかというに関心がある	146	47.2
3 どちらかというに関心はない	46	14.9
4 ほとんど関心がない	3	1.0
合計	307	99.4
非該当・無回答	2	0.6
	309	100.0

SQ もし具体的に關心のある話題があるようでしたら【】内にお書きください

【
】

【地方議会・議員】続いて地方議会・議員に関する質問をします。

- 9 地方分権が推進されると地方議会の役割が増え、地方議員の活動が活発になるという意見がありますが、あなたはこの意見をどう思いますか。該当するもの1つに をつけてください。

	回答数	パーセント
1 権限が委譲されれば活性化されると思う	233	75.4
2 権限が委譲されても活性化されないと思う	60	19.4
3 わからない	10	3.2
合計	303	98.1
非該当・無回答	6	1.9
	309	100.0

- 10 次の二つの意見があります。あなたのご意見は強いて言うとどちらにあてはまりますか。それぞれ該当するもの1つに をつけてください。

A) 財政再建のためには増税しないで、行政サービスをカットすべき
B) 財政再建のためには増税をして、行政サービスの質を維持すべき

	回答数	パーセント
1 Aの意見に近い	50	16.2
2 どちらかというAの意見に近い	77	24.9
3 どちらかというBの意見に近い	88	28.5
4 Bの意見に近い	48	15.5
5 わからない・なんともいえない	36	11.7
合計	299	96.8
非該当・無回答	10	3.2
	309	100.0

A) 地方議員は市全体の代表であるから，自分の住む町内会の意見は無視しても市全体の利益を考えなければならない

B) 地方議員は自分の住む地区の代表であるから，その声を代弁しなければならない

	回答数	パーセント
1 Aの意見に近い	51	16.5
2 どちらかというともAの意見に近い	115	37.2
3 どちらかというともBの意見に近い	75	24.3
4 Bの意見に近い	35	11.3
5 わからない・なんともいえない	24	7.8
合計	300	97.1
非該当・無回答	9	2.9
	309	100.0

11 「地方に政党政治はそぐわない」という意見があちらこちらでいわれますが、これについてどう思いますか。該当するもの1つに をつけてください。

	回答数	パーセント
1 全くその通りだと思う	64	20.7
2 どちらかというともその通りだと思う	103	33.3
3 どちらかというともそうとは思わない	56	18.1
4 そうとは思わない	77	24.9
5 わからない	4	1.3
合計	304	98.4
非該当・無回答	5	1.6
	309	100.0

12 同様に、『多くの政党が特定の首長候補者を支援する「相乗り選挙」は、有権者の選択の幅を狭めるので望ましくない』という意見がありますが、これについてどう思いますか。該当するもの1つに をつけてください。

	回答数	パーセント
1 全くその通りだと思う	51	16.5
2 どちらかというともその通りだと思う	109	35.3
3 どちらかというともそうとは思わない	72	23.3
4 そうとは思わない	66	21.4
5 わからない	5	1.6
合計	303	98.1
非該当・無回答	6	1.9
	309	100.0

- 13 地方議会議員の報酬に抑制するべきだという意見がありますが、あなたはご自分の報酬に対して、どのように思っておられますか。該当するもの1つに をつけてください。

	回答数	パーセント
1 増額した方がよい	118	38.2
2 現在のままでよい	131	42.4
3 減額した方がよい	43	13.9
4 わからない	11	3.6
合計	303	98.1
非該当・無回答	6	1.9
	309	100.0

- 14 地方議員の調査費についてお聞きします。あなたは現在の調査費の金額をどのように思っておられますか。該当するもの1つに をつけてください。

	回答数	パーセント
1 増額した方がよい	106	34.3
2 現在のままでよい	146	47.2
3 減額した方がよい	42	13.6
4 わからない	6	1.9
合計	300	97.1
非該当・無回答	9	2.9
	309	100.0

【フェイス・シート】最後に、基本的な質問をさせていただきます。

あなたの性別に をつけてください。

	回答数	パーセント
1 男性	278	90.0
2 女性	22	7.1
合計	300	97.1
非該当・無回答	9	2.9
	309	100.0

あなたの年齢が該当するものに をつけてください。

	回答数	パーセント
1 40歳未満	8	2.6
2 40 - 44歳	3	1.0
3 45 - 49歳	24	7.8
4 50 - 54歳	62	20.1
5 55 - 59歳	83	26.9
6 60 - 65歳	81	26.2
7 65 - 69歳	27	8.7
8 70歳以上	12	3.9
合計	300	97.1
非該当・無回答	9	2.9

あなたが議員に立候補されるまでの職業はどれに該当するでしょうか。直近の職1つに をつけてください

	回答数	パーセント
1 商店・工場主	29	9.4
2 会社役員	63	20.4
3 技能現業職	33	10.7
4 専門・技術職（資格職業）	26	8.4
5 農林水産業	47	15.2
6 公務員	23	7.4
7 教員	5	1.6
8 政党・団体役員	20	6.5
9 政治家等の秘書	6	1.9
10 無職	5	1.6
11 上記以外（ ）	43	13.9
合計	300	97.1
非該当・無回答	9	2.9
	309	100.0

あなたは昭和の大合併が行われた昭和30年以降、ずっとこの市に住んでいましたか。

	回答数	パーセント
1 はい	245	79.3
2 いいえ	56	18.1
合計	301	97.4
非該当・無回答	8	2.6
	309	100.0

SQ 「いいえ」と答えた方に質問します。あなたがこの市に住むようになったのは、成人してからですか。

	回答数	パーセント
1 はい	38	12.3
2 いいえ	19	6.1
合計	57	18.4
非該当・無回答	252	81.6
	309	100.0

あなたは個人後援会をもっておられますか。

	回答数	パーセント
1 もっている	253	81.9
2 もっていない	46	14.9
合計	299	96.8
非該当・無回答	10	3.2
	309	100.0

あなたは現在、何期目ですか。

	回答数	パーセント
1 期目	63	20.4
2 期目	74	23.9
3 期目	63	20.4
4 期目	42	13.6
5 期目	31	10.0
6 期目	8	2.6
7 期目	10	3.2
8 期目	5	1.6
9 期目	1	0.3
合計	297	96.1
非該当・無回答	12	3.9
	309	100.0

あなたが選挙で当選できた理由は何であると思われますか。当選の要因として大きいと思われる要因3つまで選び、その番号に をつけてください。の数は、1つでも2つでもかまいません。

	延べ数
1 議員としての活動実績	130
2 自分の個人的資質・肩書き	41
3 親族の支援・応援	102
4 町内会の支援・応援	176
5 後援会の支援・応援	214
6 政党の支援・応援	33
7 国会議員・県議などの支援・応援	7
8 その他()	22

あなたをはじめて立候補するときに、立候補することを誰かから勧められましたか。主なもの1つに をつけてください。

	回答数	パーセント
1 政党から	36	11.7
2 業界から	4	1.3
3 労組から	43	13.9
4 同じ町内会の住民から	112	36.2
5 同じ町内会以外の住民から	25	8.1
6 政治団体から	1	0.3
7 その他()	50	16.2
8 なし	25	8.1
合計	296	95.8
非該当・無回答	13	4.2
	309	100.0

たいへん長い質問にお答えいただきありがとうございました。封入する前に記入漏れがないか、もう一度確認してください。

本調査の集計結果は、次のホームページで公開する予定です。

<http://www.law.kanazawa-u.ac.jp/kawamura/>

金沢大学法学部
 助教授 河村和徳